

『滋賀県・危機管理センターと県警本部』施設見学会

研修部長 永尾正昭（34期地文・石山）

2月13日（月）9：45 風花舞う寒い朝、JR大津駅に続々と参加者が到着し企画時の30名程度との予想に反し52名もの会員が参集。災害・犯罪等への関心の高さでしょうか？早速スケジュールを確認し徒歩5分、昨年開設された県庁内の「危機管理センター」に到着。県職員の山本・奥村さんの出迎えを受け、施設の概要説明のあと2班に分かれ「1階エントランスロビー：防災情報、各種防災グッズ展示」→「3階オペレーションルーム：県や関係機関の職員が会し情報収集や対策立案」→「2階災害対策本部室：本部長（知事）の下、関係機関が集まり危機事案への対応方針や対策を協議」の順序で、1時間30分にわたり最新設備を備えた危機管理の拠点を見学する。

最後に大会議室で防災講座を受講し、

- ① 自助は最大の共助である、
- ② 他人事意識を払拭し普段から災害へ備える
ことの大切さを教えられました。



午前11時30分、官庁街の中心にあるレストランに移動し、周辺で働く多くの職員に交じり、ワンコイン・セルフの昼食と休憩をとりました。

再び徒歩にて大津市打出浜の「県警本部」に向かい、午後1時竹内警部補の出迎えを受け、早速ビデオによる施設概要を視聴する。2班に分かれ、県内全域を統括する「通信指令室：110番発生（平均350件/日）に対する事件事故対策」→「交通管制センター：道路情報に基づく交通安全対策」を1時間かけて見学する。

通常余りお世話になりたくない強面の感のする施設ですが、思った以上の温かい応対を受けたことで、より身近な存在と感じてもらえたのではないのでしょうか。



今回の研修会は、4時間余りをかけて2つの施設を見学するという、ハードなものとなりました。それでも皆さん真剣な眼差しで視聴し、率直な質問をするなど、普段縁遠いとは言え、いざという時には心強い支えとなる施設を直接見学出来たことは貴重な機会となったのではないかと思う次第です。

参加された皆さん、ご苦労様でした！

◎今後の活動計画

- ・ 3月23日（木） 健康部+研修部合同企画「堅田地区歴史探訪ハイキング」
9：45 JR堅田駅集合